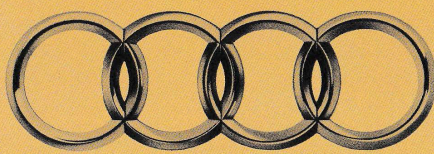


騎士道と優雅さを愛する
紳士、淑女に捧げる
栄光のフォー シルバー リングス



ある輝かしい技術革新の歴史

いま、世界のハイウェイを疾走する
アウディ。そのフロントに輝く四輪
のマークは、西ドイツ技術者た
ちの果敢な技術開発への挑戦と
その成功のシンボルです。
世界の自動車史上に語りつ
がれている「銀輪のストー
リー」こそ、ドイツで生
まれた世界の名車、
アウディの歴史そのも
のなのです。「4つの
銀輪物語」……それは
今をさる100年前、ダニ
ーブ川のほとりの小さな町工場か
ら始まります。
そこには野心に燃えた、若い二人の
技術者がいました。彼らは青春のす
べてを技術開発に賭けて、ミシンの
製造、続いて自転車を組み立て始め
たのです。そしてさらに野心は広が
り、自動車のシャシー開発にまで伸
びていきました。ダイムラーに納め
られたシャシーをもとに、ダイムラー
社は「ダイムラー スチール ホイール
カー」を製造したのです。野心家た
ちの夢が確かな現実となったある日、
彼らは新しい工場の地名、ネッカーズ
ルム(Neckarsulm)の地名から三文
字をとり、「NSU」の商標を創りだ
しました。
1909年、時速124kmというオートバイ
の世界記録を樹立、同年、1836kmの

長距離を3台のNSU 4輪車が完走
——とNSUは着実に進歩していっ
たのです。
一方、NSUの他に戦前ドイツでは、
2サイクルの小型エンジンを開発し
たDKW、4気筒OHV、1145ccと
いう本格的乗用車で貴族階級の人気
を集めたワグネル クラシックカー
マニアの間で、今なお親しまれてい
るホルヒ、そして、アルペン ラリー
3年連続優勝の記録を堂々と打ちた
てたアウディ、といったメーカーが
互いに覇を競い合っていました。
しかし1929年の大恐慌は、世界中の
経済を深刻な危機に陥し入れました。
アウディ、ホルヒ、DKW、ワグネル
の4社は、こうした事態を切り抜け
るために、互いの技術を認めあっ
て一つに集結したのでした。
1932年6月29日、アウト ウニオン
社はこうして創立されたのです。
アウディのフロントに輝くフォー シ
ルバー リングは、この4社の固い絆
を意味しています。
第二次大戦におけるドイツの無条件
降伏により、アウト ウニオンは解
体をよぎなくされました。しかし1949
年、技術者たちの情熱で再び甦え
たアウト ウニオンは、ダイムラーベ
ンツ、フォルクスワーゲン等の援護
を受けて、次々と新しい技術を開発
していったのです。代表的なものだ

けでも、高性能と軽量化に新しい時
代を開いたアルミニウム エンジン。
車の安定性を飛躍的に向上させた独
立フロント サスペンション。素晴し
い走行性をもたらしたフロント ホイ
ール ドライブ。さらにエンジン パ
ワーをフルに発揮する前進4速のト
ランス ミッションなど、これらすべ
ては四輪マークに象徴されるにふさ
わしい、アウト ウニオンの技術者た
ちの偉大な業績なのです。
1903年3月10日、フォルクスワーゲン
傘下のアウト ウニオンと、独自の力
でロータリーエンジンなど、画期的
な開発を続けてきたNSUが互いに
手を結び、アウディ NSU アウト
ウニオン社を創立。ここに西ドイツ
民族資本の一大連合が結成されたの
です。
1972年、その技術のすべてを結集し
て開発されたアウディ80は、爆発的
な人気を呼び、'72の「カー・オブ・
ザ・イヤー」の栄冠を獲得、アウディ
の名声を不動のものとなりました。
絶えず新しい技術の開発に情熱をか
たむけるエンジニア・スピリットが、
すべてのアウディの中に息づいてい
ます。
世界の紳士、淑女に捧げるにふさわ
しい貴品に満ちた名車、アウディ、
快い歴史の重みをじっくり味わって
みて下さい。